

科目名 (科目番号)	保健栄養学特講Ⅰ (時間割参照)	教員名	増野弥生 古橋千恵美 伊部陽子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	講義	オフィスアワー	各教員研究室	
授業概要	基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論の専門科目担当教員より、各専門分野におけるトピックスを含めた重要事項について基本的な話題のみならず最新の話題についても提供する。学生はその内容を加味した形で、各教科でこれまで習得した知識を総合的に整理し、最終的には栄養マネジメントの実践能力として涵養する。教員はこの過程を常に補佐し、場合によってはさらに進んだ情報や考察の提供も行い、学生の自主的学習能力の向上を支援する。							
目的・目標	目的:基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論の分野の知識を身につける。 目標:これまで習得した知識を総合的に整理し、栄養マネジメントの実践能力を理解することができる。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	応用栄養学 管理栄養士国家試験ガイドラインⅠ及び過去の出題傾向	到達目標:管理栄養士国家試験出題基準の応用栄養学分野を理解および問題形式での実践ができる 学習内容:管理栄養士国家試験出題基準の応用栄養学分野について理解できる					
	2	応用栄養学 栄養ケア・マネジメント	学習内容:栄養ケア・マネジメントの復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養 到達目標:栄養ケア・マネジメントの理解および問題形式での実践ができる					
	3	応用栄養学 日本人の食事摂取基準 (2025年版)	到達目標:食事摂取基準の理解および問題形式での実践ができる 学習内容:食事摂取基準の復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	4	応用栄養学 成長・発達・加齢、各ライフステージ、スポーツ、ストレス、特殊環境	到達目標:成長・発達・加齢、各ライフステージ、スポーツ、ストレス、特殊環境の理解および問題形式での実践ができる 学習内容:成長・発達・加齢、各ライフステージ、スポーツ、ストレス、特殊環境の復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	5	応用栄養学 応用栄養学全般	到達目標:応用栄養学領域の理解および問題形式での実践ができる 学習内容:応用栄養学領域の問題演習形式による実践力の涵養					
	6	栄養教育論 行動科学の理論とモデル	到達目標:行動科学の理論とモデルの総合的な理解および問題形式での実践ができる。 学習内容:行動科学の理論とモデルの重要事項確認と最新の話題提供、ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	7	栄養教育論 行動変容技法と概念	到達目標:行動変容技法と概念の総合的な理解および問題形式での実践ができる。 学習内容:行動変容技法と概念の重要事項確認と最新の話題提供、ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	8	栄養教育論 栄養カウンセリング	到達目標:栄養カウンセリングの総合的な理解および問題形式での実践ができる。 学習内容:栄養カウンセリングの重要事項確認と最新の話題提供、ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	9	栄養教育論 栄養マネジメント	到達目標:栄養教育マネジメントの総合的な理解および問題形式での実践ができる。 学習内容:栄養教育マネジメントの重要事項確認と最新の話題提供、ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	10	栄養教育論 ライフステージ別の栄養教育	到達目標:多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の総合的な理解および問題形式での実践ができる。 学習内容:多様な場におけるライフステージ別の栄養教育の重要事項確認と最新の話題提供、ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	11	基礎栄養学 3大栄養素の代謝	到達目標:3大栄養素の代謝を理解および問題形式での実践ができる 学習内容:3大栄養素の代謝の復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	12	基礎栄養学 ビタミン	到達目標:ビタミンの働きを理解および問題形式での実践ができる 学習内容:ビタミンの復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	13	基礎栄養学 ミネラル	到達目標:ミネラルの働きを理解および問題形式での実践ができる 学習内容:ミネラルの復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	14	基礎栄養学 消化吸収、水・電解質代謝	到達目標:消化吸収、水・電解質基礎代謝の働きを理解および問題形式での実践ができる 学習内容:消化吸収、水・電解質基礎代謝の復習ならびに問題演習形式による実践力の涵養					
	15	基礎栄養学 基礎栄養学領域全般	到達目標:基礎栄養学領域の理解および問題形式での実践ができる 学習内容:基礎栄養学領域の問題演習形式による実践力の涵養					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)で評価する。 (配点内訳:基礎栄養学33%、応用栄養学33%、栄養教育論34%)(対面・オンライン共通)。							
教科書	レビューブック管理栄養士2026 「日本人の食事摂取基準(2025年版)」 佐々木 敏監修 第一出版							
参考図書	[適宜、資料、演習問題を配布する。各教科で使用した教科書を持参すること。 授業時間内に参考図書を紹介する場合もある。課題提出にはESSを利用することがあるので、忘れずにチェックを行うこと。							
教員からのメッセージ	各回の事前準備内容や授業の具体的な進め方については、各教員が個別に指示します。最初の授業でガイダンスを行います。授業に関する連絡は原則として掲示、クラスルームで行いますので、毎日確実に掲示板・クラスルームをチェックしてください。なお、授業の進度その他の事情で、授業展開順序や内容に関する変更がある場合があります。オンライン授業に変更がある場合は、変更のシラバスを周知いたします。							